

2023 年 10 月 31 日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社焼肉坂井ホールディングスに「SDG s 推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社焼肉坂井ホールディングス（代表取締役：杉本 英雄）に「SDG s 推進支援融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社焼肉坂井ホールディングスについては、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 食品ロス・廃棄の削減によるレジリエントな食料生産体制の構築への寄与

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.3 2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。
目標 2 飢餓を ゼロに	2.4 2030 年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。

② 低アルコール飲料メニューの開発やノンアルコール飲料の販売促進による健康増進や飲酒運転撲滅への貢献

目標 3 すべての人に 健康と福祉を	3.5 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。
	3.6 2020 年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。

三井住友銀行では、「SDG s 推進支援融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上